

地域密着型金融推進計画の進捗状況（要約）

（平成17年4月～平成19年3月）



仙北信用組合

平成 19 年 5 月 18 日

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について

仙北信用組合は、金融庁から公表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」(平成 17 年～18 年度)に基づき、策定しました「地域密着型金融推進計画」の平成 18 年度下期までの進捗状況を別紙のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

また、当組合では、引続き「地域密着型金融」の必要性を考え、お客様や地域のニーズを的確に把握し、「地域密着型金融」のビジネスモデルの確立・深化をしていくために、今後も積極的に業務改革に取り組んでまいります。

地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム進捗状況（平成17年度～平成18年度）

【地域密着型金融推進計画の進捗状況要約（平成17年4月～平成19年3月）】

仙北信用組合

事業再生・中小企業金融の円滑化

〔進捗状況〕

地域経済発展に寄与すべく、取引先等の経営相談や中小企業金融の円滑化を図るため、適切な経営アドバイスや相談業務の充実と過度の担保・保証に依存しない商品開発とその推進並びに財務分析等の能力向上に向けた人材育成の強化に努めて参りました。

〔進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題〕

中小企業金融の円滑な資金提供を図るべく、過度の担保・保証に依存しない支援体制の強化により、地域の経済活動の発展に取り組んで参りました。今後も、円滑な資金提供を図るべく中小企業者の実態把握が重要であることから、今後も期中管理の徹底を推進し、リレーシヨンの強化に努め、ランクアップ等推進して参ります。また、人材の育成についても継続的な知識習得に向けた取組みを推進して参ります。また、債務者区分遷移状況や業種別与信額推移データの整備等、継続的な活用方法の検討が必要であると分析しております。

経営力の強化

〔進捗状況〕

債務者の実態や業況を把握し期中管理の充実と自己査定 of 正確性に努めており、その中で債務者区分のランクアップも図りました。また、組合独自の新長期プライムレートを貸出基準金利に採用し、適正収益の確保に向けた取組みも行いました。さらにはガバナンスの強化として総代とのコミュニケーションを軸とした情報開示に努めました。

〔進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題〕

債務者とのリレーシヨンを維持することで、より正確な実態把握ができていますと分析し、今後もその実態を自己査定へ反映することで正確性を向上させて参ります。収益面では、債務者区分に応じた貸出基準金利を遵守した結果、月中貸出金利が上昇しており、収益向上に繋がっているものと分析しております。法令遵守については、コンプライアンス・プログラムを毎年見直したなかで、毎月の研修会を開催しており、今後も研修会を継続し職員のコンプライアンスに対する意識を高めて参ります。

地域の利用者の利便性向上

〔進捗状況〕

ディスクロージャー誌の発行や地域総代会等を通じて積極的な情報公開に努める中で、新商品の提供等にも取組み利便性向上に努めました。また、地元行政に対する提言や商工会との意見交換会を開催し、情報を共有する中で、地域の再生支援にも努めました。

〔進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題〕

積極的な情報公開や利便性の向上に向けた経営改善策の実施、さらには商工会との意見交換会の開催による育成支援等の取組みは、ほぼ計画通りの取組みができたと分析しております。今後も継続して利便性の向上に向けた研究等を行い、また、地域との意見交換会等も継続し情報を共有しながら地域内企業の育成支援に取り組んで参ります。

地域密着型金融推進計画（アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況）

項目	計画	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況	
			17年度	18年度	18年4月～18年9月	18年10月～19年3月
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化						
(1) 創業・新事業支援機能等の強化	<ul style="list-style-type: none"> 融資基本原則を遵守した審査態勢の強化 審査管理能力のレベルアップ リレーションシップレコードの活用による期中管理の徹底 業種別債務者区分の遷移状況のデータ整備 	<ul style="list-style-type: none"> 融資事務取扱規程等の見直し 職員の審査管理能力アップとして、通信教育や外部研修への派遣 宮城県信用保証協会との保証提携商品の活用 リレーションシップレコードの活用による融資先の実態把握と情報収集 業種別債務者の遷移状況の内部データ蓄積と整備 創業、新事業支援6先 	<ul style="list-style-type: none"> 県協会の実施する研修会に職員派遣 内部研修の実施 大口と信先等の訪問活動とリレーションシップレコードの整備 融資事務取扱規程等の整備 宮城県信用保証協会との勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> 業種別債務者区分の遷移状況の推移を内部データとして蓄積・整備 県協会の実施する研修会に職員派遣 全信中協の実施する研修会に職員派遣 内部研修の実施 大口と信先等の訪問活動とリレーションシップレコードの整備 通信教育の実施（財務、税務、法務） 内部研修の実施 宮城県信用保証協会との勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> 県協会の実施する研修会に職員を16名派遣しました。 人材育成のための内部研修（ゼミナール）を平成17年9月に開講しました。 仙北信用組合リレーションシップレコードを策定し、お客様の動向等の把握に努めております。 17年12月に財務分析能力向上策として、信用保証協会との勉強会を開催しました。（職員10名参加） 18年2月に公証人による研修会を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 18年5月に融資担当者を中心に国民金融公庫との勉強会を開催し、知識習得を図りました。 18年7月に宮城県信用組合協会主催の「信用保証の受付から代弁まで」の研修会に職員10名を派遣しました。 18年5月宮城県信用組合協会主催の「企業再生と第二創業支援のための目利きと助所」の研修会に職員4名を派遣しました。 審査、管理課合同による「大口と信先等」のヒアリングを実施しました。 18年11月に融資担当者（16名）を中心に信用保証協会との勉強会を開催し、知識習得を図りました。 人材育成のための内部研修（ゼミナール）を開講しました。
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業支援室の設置と専任者の設置 中小企業に対するコンサルティング機能の充実 支援スキルの向上 経営情報やビジネスマッチング情報の収集 	<ul style="list-style-type: none"> 債権の健全化に向けランクアップの選定と推進 人材育成として、外部研修への参加と内部研修の実施 コンサルティング機能の強化策として、税理士、弁護士等による無料相談会の開催 税理士等の連携により情報提供に対応できる態勢整備 	<ul style="list-style-type: none"> ランクアップを図れる先のリストアップ 無料相談会の開催（第1回） 地域の交流会への参加 信用保証協会との勉強会の開催 無料相談会の開催（第2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ランクアップを図れる先のリストアップ 無料相談会の開催（第1回） 地域の交流会への参加 信用保証協会との勉強会の開催 無料相談会の開催（第2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ランクアップを図れる先として、45先をリストアップしました。 第1回無料法律相談会を平成17年7月に実施しました。（相談者10名） ランクアップに向けて債務者の実態把握と財務内容の改善の具体的な指導を実施しました。 第2回無料法律相談会を平成17年11月に実施しました。（相談者10名） 	<ul style="list-style-type: none"> 18年5月に融資担当者を中心に国民金融公庫との勉強会を開催し、知識習得を図りました。 18年5月県協会主催の「企業再生と第二創業支援のための目利きと助所」の研修会に職員4名を派遣しました。 18年7月に宮城県信用組合協会主催の「信用保証の受付から代弁まで」の研修会に職員10名を派遣しました。 審査、管理課合同による「大口と信先等」のヒアリングを実施しました。 18年11月に顧問弁護士による無料法律相談会を開催しました。（相談者7名） 18年11月に融資担当者（16名）を中心に信用保証協会との勉強会を開催し知識習得を図りました。 中小企業支援室による、経営相談を実施しました。 取引先企業のビジネスマッチング情報の提供（4組）に努めました。 宮城県信用組合協会のビジネスマッチング情報誌の活用。（Hand in Hand） 19年3期自己査定結果をもとに、合計で7先のランクアップが図れました。
(3) 事業再生に向けた積極的取組み	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業支援室によるランクアップの推進 コンサルティング機能の充実 人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ランクアップの選定と専任者の設置 税理士、弁護士等による無料相談会の開催 人材育成として、外部研修への参加と内部研修の実施 ランクアップ45先 	<ul style="list-style-type: none"> ランクアップ先リストの選定 無料相談会の開催 ランクアップの検討 信用保証協会との勉強会開催 研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ランクアップ先リストの選定 無料相談会の開催 ランクアップの検討 信用保証協会との勉強会開催 研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ランクアップを図れる先として、45先をリストアップしました。 第1回無料法律相談会を平成17年7月に実施しました。（相談者10名） 人材育成のための内部研修（ゼミナール）を平成17年9月に開講しました。 ランクアップに向けて債務者の実態把握と財務内容の改善の具体的な指導を実施しました。 第2回無料法律相談会を平成17年11月に実施しました。（相談者10名） 	<ul style="list-style-type: none"> ランクアップに向けて債務者の実態把握と財務内容の改善策を検討しました。 18年5月に融資担当者を中心に国民金融公庫との勉強会を開催し知識習得を図りました。 18年5月宮城県信用組合協会主催の「企業再生と第二創業支援のための目利きと助所」の研修会に職員4名を派遣しました。 18年7月に宮城県信用組合協会主催の「信用保証の受付から代弁まで」の研修会に職員10名を派遣しました。 審査、管理課合同による「大口と信先等」のヒアリングを実施しました。 18年11月に顧問弁護士による無料法律相談会を開催しました。（相談者7名） 18年11月に融資担当者（16名）を中心に信用保証協会との勉強会を開催しました。 人材育成のための内部研修（ゼミナール）を開講しました。 ランクアップに向けて中小企業支援室と営業店が一体となって、取引先の財務改善の指導や実態把握に努め、7先のランクアップが図れました。

項目	計画	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況	
			17年度	18年度	18年4月～18年9月	18年10月～19年3月
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化						
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等						
担保・保証に過度に依存しない融資の推進等	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済社会の発展に寄与する公共的使命の発揮 リレーションシップレコードの活用 融資基本原則の遵守 担保・保証に過度に依存しない融資審査 	<ul style="list-style-type: none"> 融資事務取扱規程の見直し 審査能力の向上 リレーションシップレコードの活用と融資先のモニタリング強化によるローンレビューの徹底 財務分析手法の「キャスター・あらかん」の研究と活用 業種別与信額推移表のデータ蓄積と分析 無担保や第三者保証人を求めない新商品の開発 ビジネスローン等の実行額 10億円 	<ul style="list-style-type: none"> 事後管理の徹底（ヒアリングの実施） 業種別与信額推移データ蓄積・分析 融資事務取扱規程の整備・見直し 財務分析手法の「キャスター・あらかん」の研究と活用 	<ul style="list-style-type: none"> 事後管理の徹底（ヒアリングの実施） 業種別与信額推移データ蓄積と分析 企業向けの無担保・第三者保証人なしの新商品の開発 財務分析手法の「キャスター・あらかん」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 事後管理の徹底として、ヒアリングを継続的に実施しております。 仙北信用組合リレーションシップレコードを活用し、期中管理に努めております。 業種別与信額推移データを蓄積しておりますが、活用方法については検討しております。 担保・保証に過度に依存しない融資商品として、「問答不要：エクスプレス」を推進しております。 17年12月より新商品として、商工会連合会との連携により「商工会メンバーズローン」の取扱いを推進しております。 信用保証協会付の「問答不要」（エクスプレス）を推進しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 18年5月に融資担当者を中心に国民金融公庫との勉強会を開催し知識習得を図りました。 18年5月宮城県信用組合協会主催の「企業再生と第二創業支援のための目利きと勘所」の研修会に職員4名を派遣しました。 18年7月に宮城県信用組合協会主催の「信用保証の受付から代弁まで」の研修会に職員10名を派遣しました。 審査、管理課合同による「大口と信先等」のヒアリングを実施しました。 18年11月に融資担当者（16名）を中心に信用保証協会との勉強会を開催し知識習得を図りました。 担保・保証に過度に依存しない融資の推進としては、ビジネスローン等38件、106百万円を実行しました。 人材育成のための内部研修（ゼミナール）を開講しました。
中小企業の資金調達手法の多様化等						
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> 各種貸付契約書の見直しと整備 リーガルチェックの徹底 顧客への説明態勢のチェック機能の充実と内部管理体制の整備 苦情等処理の報告体制の強化と再発防止 研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 随時、各種貸付契約書の内容見直しと整備 顧客説明事項の職員への周知徹底 リーガルチェックの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 随時、各種貸付契約書の内容見直しと整備 契約書見直し後の職員への周知徹底 コンプライアンスの研修会開催 リーガルチェックの徹底 コンプライアンスの研修会開催 	<ul style="list-style-type: none"> 随時、各種貸付契約書の内容見直しと整備 契約書見直し後の職員への周知徹底 コンプライアンスの研修会開催 リーガルチェックの徹底 コンプライアンスの研修会開催 	<ul style="list-style-type: none"> 各種契約書の整備に伴い、平成17年4月に研修会を実施しました。 コンプライアンスの研修会を各店別に開催しております。 18年3月に融資部による融資担当者を対象とした根保証契約（当座貸越契約）に関する研修会を開催しました。（職員7名参加） 平成17年度コンプライアンスオフィサー検定試験の結果、10名の資格取得者の実績がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> 18年度通信教育講座に6名受講しております。 コンプライアンス訪問研修を毎月開催しております。 人材育成のための内部研修（ゼミナール）を開講しました。 「信用組合取引約定書」についての研修会を開催しました。
(6) 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 全信中協や県協会主催による各種研修会への派遣 人材の育成 情報の収集と活用 	<ul style="list-style-type: none"> 全信中協や県協会において開催する各種研修会へ職員の派遣 受講終了職員による内部研修会の実施 各情報誌からのあらゆる情報の活用 平成17年度研修計画に従った「人材育成のための研修会（ゼミナール）」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 全信中協「企業再生支援講座」 県協会「融資渉外研修」「企業再生と第二創業支援のための目利きと勘所研修」 ゼミナールの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 全信中協「企業再生支援講座」 融資審査講座 県協会「融資渉外研修」「企業再生と第二創業支援のための目利きと勘所研修」 ゼミナールの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 県協会主催の「融資渉外研修」「企業再生と第二創業支援のための目利きと勘所研修」に職員を23名派遣しました。 人材育成のための内部研修（ゼミナール）を平成17年9月に開講しました。 17年12月信用保証協会との勉強会を開催しました。（職員10名参加） 18年1月県協会が実施する「事業戦略立案プロジェクト」導入による経営基盤強化策と融資推進の研修会に職員12名派遣しました。 18年2月公証人による研修会を開催しました。 「期中管理の重要性等」をテーマに本部ゼミナールを開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 18年5月国民金融公庫との勉強会を開催しました。 18年5月県協会主催の「企業再生と第二創業支援のための目利きと勘所」研修会へ4名参加しました。 18年7月県協会主催の「信用保証の受付から代弁まで」の研修会へ10名参加しました。 18年11月、宮城県信用組合協会主催の「金融に関する犯罪・民暴対策」についての研修会に8名参加しました。 18年11月に融資担当者（16名）を中心に信用保証協会との勉強会を開催し知識習得を図りました。 人材育成のための内部研修（ゼミナール）を開講しました。

項目	計画	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況	
			17年度	18年度	18年4月～18年9月	18年10月～19年3月
2. 経営力の強化						
(1)リスク管理態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・リレーションシップレコードの徹底と期中管理の徹底 ・適切な自己査定の実施 ・自己査定基準と償却・引当の厳正な適用 ・監査部門の償却・引当の検証 ・担保評価の見直し ・不動産取引事例の収集 ・処分実績データの蓄積 ・債務者区分遷移分析の蓄積 ・小口融資等の徹底と信用リスク計測の精緻化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローンレビューの徹底 ・自己査定基準書・貸出条件緩和債権基準の見直し ・自己査定の正確性の向上のための研修会実施 ・監査部門による自己査定と貸倒実績率の検証 ・担保評価の見直し ・地価公示・路線価のデータ蓄積 ・不動産取引事例の収集 ・担保処分実績と担保評価のデータ蓄積 ・債務者区分遷移分析データの蓄積 ・ポートフォリオ管理 ・不良債権比率10%以内 	<ul style="list-style-type: none"> ・債務者区分遷移分析データの蓄積 ・リレーションシップレコードの徹底 ・ローンレビューの実施 ・地価公示の動向調査 ・自己査定基準書・貸出条件緩和債権基準の見直し ・自己査定基準書の研修会 ・路線価の動向調査 ・パーゼルの研究 ・監査部門による検証 ・ポートフォリオ管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・資産査定委員会での自己査定結果の検証 ・担保処分実績と担保評価の検証 ・ポートフォリオ管理 ・中小企業編（マニュアル）の勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・債務者への訪問活動や仙北信用組合リレーションシップレコードを励行し、景気、資金動向等の把握に努めました。 ・管内の地価データ蓄積を行いました。 ・業種別と信用推移データを蓄積しました。 ・事後管理の徹底として、営業店とのヒアリングを継続的に実施しました。 ・経営改善計画書の進捗状況の確認に努めました。 ・リレーションシップレコードの励行に努めました。 ・地価公示・路線価の動向調査を実施しました。 ・貸出条件緩和債権基準の見直しをしております。 ・営業店・本部が一体となり、大口と信先への同行訪問を励行しました。 ・自己査定基準書の研修会を実施しました。 ・信用保証協会との勉強会を開催しました。 ・監査部門の検証を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・債務者とのリレーションにより実態・業況の把握に努めるなかで、リレーションシップレコードを継続的に励行し期中管理に努めました。 ・資産査定委員会での自己査定結果の検証および第一次査定者との十分なヒアリングを実施しました。 ・監査部門は資産査定委員会とのヒアリングを踏まえ、自己査定と貸倒実績率算定方法等の検証を実施しました。
(2)収益管理態勢の整備と収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・経営相談や支援機能の強化 ・リスクの共同管理とコストの共同負担による適正な対価負担の要求 ・リスクに見合った貸出金利基準表の整備 ・支援企業先とのリレーション継続と強化 ・債務者区分ランクアップへの取組 ・店別独立採算制の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・新長期プライムレートの導入 ・調達コスト、リスクに見合った新貸出金利基準の整備 ・中小企業支援室の設置 ・リレーションシップレコードの徹底 ・ローンレビューの徹底と不良債権発生防止 ・ポートフォリオ管理 ・店別独立採算制の管理会計の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・債務者区分遷移分析による信用リスクデータ蓄積 ・新長期プライムレート設定規程整備 ・リレーションシップレコードの徹底 ・ポートフォリオ管理 ・債務者区分ランクアップ取組 ・新長期プライムレートの導入開始 ・債務者区分のリスクに見合った新貸出金利基準表制定 ・店別独立採算制の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・債務者区分遷移分析による信用リスクデータ蓄積 ・債務者区分ランクアップ ・ポートフォリオ管理 ・店別独立採算制導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・新長期プライムレートを制定し、債務者区分に応じた貸出金利基準を採用しました。 ・ランクアップを図る先として、45先をリストアップしました。 ・仙北信用組合リレーションシップレコードを活用し、実態把握に努めました。 ・新長期プライムレートの一部改正をいたしました。 ・リレーションシップレコードの励行に努めました。 ・常勤役員を含む審査課、管理課と各営業店とのヒアリングを毎月実施し、延滞先、大口と信先の期中管理し、不良債権の未然防止に努めました。 ・小口融資の推進に努めております。 ・店別独立採算制を導入しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出金利マニュアルの一部改正しました。 ・リレーションシップレコードの励行に努めました。 ・常勤役員を含む審査課、管理課と各営業店とのヒアリングを毎月実施し、延滞先、大口と信先の期中管理し、不良債権の未然防止に努めました。 ・小口融資の推進に努めました。 ・店別独立採算制を導入し、月次の管理をしております。 ・店別独立採算制として、店舗別の損益計算表を作成し管理表として活用しました。
(3)ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・半期ディスクロージャーの内容充実 ・事業年度経過後四ヶ月以内のディスクロージャー誌の発行 ・総代との継続的な地区総代会の開催 ・総代とのコミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・半期開示の内容充実 ・事業年度経過後四ヶ月以内のディスクロージャー誌の発行 ・地区総代会の開催 ・総代との旅行会 	<ul style="list-style-type: none"> ・総代旅行積立預金の開始 ・ディスクロージャー誌に掲載 ・ミニ・ディスクロージャー誌に掲載 ・総代との旅行会 	<ul style="list-style-type: none"> ・総代旅行積立預金の開始 ・ディスクロージャー誌に掲載 ・ミニ・ディスクロージャー誌に掲載 ・総代との旅行会 	<ul style="list-style-type: none"> ・7地区の会場において17年度下期地区総代会を開催し、下期の「せんぼくの現況」を説明し、総代とのコミュニケーションに努めました。 ・平成17年9月期ミニ・ディスクロージャー誌に掲載しました。 ・平成17年9月期ミニ・ディスクロージャー誌に掲載しました。 ・ホームページに掲載しました。 ・平成17年9月期金融再生法開示債権の保全状況を開示しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・18年度上期地域総代会を7地区で開催し、平成17年度の「せんぼくの現況」を説明し、総代とのコミュニケーションを図りました。 ・2006年ディスクロージャー誌を発行し、同時にホームページ上でも公開しました。 ・ガバナンスの強化として、2006年ディスクロージャー誌に代表者が「直近の事業年度における財務諸表の適正性、及び財務諸表作成に係る内部監査の有効性の確認」を記載しました。 ・18年度下期地域総代会を7地区で開催し、平成18年度の「せんぼくの現況」を説明し、総代とのコミュニケーションを図りました。 ・2006年ミニディスクロージャー誌を発行し、同時にホームページ上でも公開しました。

項目	計画	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況	
			17年度	18年度	18年4月～18年9月	18年10月～19年3月
2. 経営力の強化						
(4) 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> 法令等遵守の士気高揚 コンプライアンス休暇の完全実施 営業店に対する法令等遵守状況の点検強化 顧客情報管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修会の実施 内部、本部検査およびフォロー検査の徹底 コンプライアンス休暇の完全実施 営業店のコンプライアンス実践講座の通信教育受講 コンプライアンスオフィサー認定資格の取得 個人情報取扱の通信教育受講 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修会 顧客情報取扱勉強会 個人情報取扱講座の通信教育受講 適切な顧客情報管理、取扱の管理 コンプライアンス実践講座通信教育受講 コンプライアンスオフィサー認定試験 コンプライアンス休暇完全実施 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修会 顧客情報取扱勉強会 個人情報取扱講座の通信教育受講 適切な顧客情報管理、取扱の管理 コンプライアンス実践講座通信教育受講 コンプライアンスオフィサー認定試験 コンプライアンス休暇完全実施 	<ul style="list-style-type: none"> 営業店訪問によるコンプライアンス研修会を実施しました。 コンプライアンス休暇(連続3日間)を実施しました。 個人情報取扱講座の通信教育を受講しました。 コンプライアンスチェック観察記録簿を通して、事務ミスの再発防止に活用しました。 コンプライアンス休暇を職員が全員が取得しました。 営業店訪問による継続的なコンプライアンス研修会を実施しました。 コンプライアンスオフィサー認定試験を受検し10名が合格しました。 個人情報取扱のセミナーを開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度コンプライアンスプログラム(推進計画)を作成しました。 コンプライアンス休暇完全取得に向けて計画通り実施しております 営業店訪問による継続的なコンプライアンス研修会を実施しております。 コンプライアンスオフィサー認定試験を受検し9名が合格しました。
(5) ITの戦略的活用	<ul style="list-style-type: none"> インターネット、モバイルバンキングの利用促進 顧客データベースの構築 A L Mの研究と活用 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット・モバイルバンキング利用P R A L Mの研究と活用 業務推進データ蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット・モバイルバンキングの利用P R 業務推進データ蓄積 A L M業務の先進組合との情報交換会開催 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット・モバイルバンキングの利用P R 業務推進データ蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット・モバイルバンキングをスタートさせ、利用P Rに努めました。 A L Mの情報交換会に職員を派遣しました。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット、モバイル・バンキングの利用P Rに努めました。 S K Cセンター主催のA L Mシステム情報交換会に職員を派遣させました。 A L Mシステムを平成19年1月に稼働させ、金利リスク等の弊出に活用しております。
(6) 協同組織中央機関の機能強化						
(7) 検査、監査体制						

項 目	計 画	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況	
			17年度	18年度	18年4月～18年9月	18年10月～19年3月
3. 地域の利用者の利便性向上						
(1)地域貢献等に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ・せんばくの社会的責任の遂行 ・資金供給等の積極的な情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の充実した個性的かつ利用者の目線に立った分かりやすい情報開示の推進 ・地域の中小企業者に対する資金供給の明示 ・利用者に対して、分かりやすい預金等の活用明示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌の発行による情報開示 ・ホームページ上によるディスクロージャー誌を掲載しての情報開示 ・ミニ・ディスクロージャー誌による情報開示 ・地区総代会の開催による情報開示 ・ホームページを駆使し、タイムリーな情報開示 ・情報開示の手法研究 ・お客様の声を合い研究し、経営に反映する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌の発行による情報開示 ・ホームページ上によるディスクロージャー誌を掲載しての情報開示 ・地区総代会の開催による情報開示 ・お客様の声を合い研究し、経営に反映 ・ミニ・ディスクロージャー誌による情報開示 ・地区総代会の開催による情報開示 ・ホームページを駆使し、タイムリーな情報開示 ・情報開示の手法研究 ・お客様の声を合い研究し、経営に反映 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌を平成17年8月に発行し、店頭へ備え置きました。 ・ホームページ上にもディスクロージャー誌を掲載し情報公開に努めました。 ・栗原地域、登米地域、気仙沼地域の3ブロックに分けて地域総代会を開催しました。 ・お客様の声を合うために「理事長へダイレクト便」を店頭へ備え置きました。 ・お客様の預金が地元企業の支援に活用される定期預金「頑張れふるさと！応援定期」を発売しました。 ・「せんばくの現況」と題して、下期地域総代会を地区毎に開催し、情報の公開に努めました。(平成17年12月5日～14日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の声を合う「理事長へダイレクト便」を店頭へ備え置きました。 ・「せんばくの現況」と題して、上期地域総代会を地区毎に開催し、情報の公開に努めました。(平成18年5月24日～6月8日) ・「せんばくの現況」と題して、下期地域総代会を地区毎に開催し、情報の公開に努めました。(平成18年12月4日～12月15日) ・お客様の声をタイムリーに連絡する(理事長とのホットライン)「お客様のつがやき」を制定しました。
(2)中小企業金融の実態に関するデータ整備						
(3)地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の満足度を重視した経営 	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性の向上の追求 ・質の高いサービスの提供 ・利用者ニーズを踏まえた営業展開 ・苦情、提言、要望等を経営方針へ反映 ・経営情報の積極的な開示 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムリーな経営情報の開示 ・CS経営の事例研究 ・お客様ニーズの研究 ・お客様とのリレーション継続 ・せんばくアンケートB O Xの設置 ・新サービスの提供 ・お客様ニーズの研究 ・県内コンビニATM(セブンイレブ)の利用開始。 ・アンケート調査結果を踏まえての次年度経営への反映 ・ホームページによるアンケート調査の取扱開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・せんばくアンケートのメンテナンス ・お客様ニーズの研究 ・新サービスの提供 ・タイムリーな経営情報の開示 ・お客様ニーズの研究 ・せんばくアンケートの分析 ・アンケート調査結果を踏まえての次年度経営への反映 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年6月より、米山支店の窓口営業を夜7時まで延長しました。 (既に本店・築館支店・迫支店・栗駒支店・中田支店は実施しております) ・キャッシュサービスの向上として、当組合4番目の店外ATM栗駒総合支所出張所を平成17年7月にオープンしました。 ・せんばくアンケートB O Xの設置に向け研究に着手しました。 ・平成18年3月より、県内コンビニATM(セブンバンク)との利用を開始しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の預金が地元企業の支援に活用される定期預金「頑張れふるさと応援定期スペシャル」を発売しました。 ・子育て支援商品として、「頑張れ子育て応援定期」を発売しました ・お客様の声をタイムリーに連絡する(理事長とのホットライン)「お客様のつがやき」を制定しました。
(4)地域再生推進のための各種施策との連携等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化に向け、地域と一体となった取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済活性化会議の設置を行政、商工会等、関連団体へ要請 ・活力ある街づくりへの積極的な提言 ・営業店を地域経済の情報発信基地としての取組 ・地域と協同での創業、起業支援 ・地域経済の創造 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業店を地域経済の情報発信基地にするための研究 ・地域経済活性化会議の設置を行政、商工会等、関連団体へ呼びかけ ・活力ある街づくりへの積極的な提言 ・せんばく情報発信基地の取組み開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・せんばく情報発信基地の取組み開始 ・活力ある街づくりへの積極的な提言 ・地域経済創造の実践 ・活力ある街づくりへの積極的な提言 ・せんばく情報発信基地の取組み継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業店を地域経済の情報発信基地にするための研究に着手しました。 ・地域経済活性化会議の設置を行政等に呼びかけました。 ・活力ある街づくりへの提言として行政等に呼びかけました。 ・栗原市に対し、市内で創業、起業を目指す栗原市民の資金面、経営面を支援していく「栗原創業支援プログラム」を提言しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域経済と地域金融機関の役割」と題しまして、宮城県中小企業家同友会の会員を対象とした講演会を開催しました。
(5)利用者等の評価に関するアンケート調査						

地域密着型金融推進計画（平成17年度～平成18年度）

数値目標の達成状況（17年4月～19年3月）

仙北信用組合

項 目	数値目標の内容	数値目標	実績
		19年3月末 (17～18年度の2年間)	19年3月末 (17年4月～19年3月)
事業再生・中小企業金融の円滑化	創業・新事業の支援	6先	4先
	無料経営相談会の開催	4回	3回
	宮城県信用保証協会との勉強会	4回	4回
	ランクアップ	45先	18先
	ビジネスローンの実行	10億円	2.4億円
経営力の強化	不良債権比率	10%	13.2%
	役務取引収益増加額	2,000万円増	1,371万円
	コンプライアンスオフィサー資格	40名	19名